

1 管理ファイルにおける場所情報の記入方法

場所情報に関わる記入方法を以下に示す。

1-1 業務件名等

(1) 住所コード

TECRIS 登録業務は、着手時にそれぞれのシステムに記入した該当データを各管理項目に記入する。TECRIS 登録対象外の業務の場合は、下記 URL で公開されているコード表を参照し、該当するコードを記入する。

TECRIS 住所コード

<http://www.nilim-ed.jp/calsec/tecris.htm>

<http://www.ct.jacic.or.jp/tecris/manual01.html>

(2) 「住所コード」と「住所」の XML 表記例

- 対象地域が 1 市区町村内の 1 箇所である場合

```
<住所情報>  
  <住所コード>21201</住所コード>  
  <住所>岐阜県岐阜市 </住所>  
</住所情報>
```

- 対象地域が 1 市区町村内の 2 箇所である場合

```
<住所情報>  
  <住所コード>21201</住所コード>  
  <住所>岐阜県岐阜市 </住所>  
  <住所>岐阜県岐阜市 </住所>  
</住所情報>
```

該当地域の数を繰り返す。

電子納品運用ガイドライン 資料編
管理ファイルにおける位置情報の記入方法

- 対象地域が複数市区町村の場合(該当する住所が全て列記可能な場合)

```
<住所情報>
  <住所コード>21201</住所コード>
  <住所>岐阜県岐阜市 </住所>
</住所情報>
<住所情報>
  <住所コード>21213</住所コード>
  <住所>岐阜県各務原市 </住所>
</住所情報>
<住所情報>
  <住所コード>21215</住所コード>
  <住所>岐阜県山県市 </住所>
</住所情報>
  :
```

該当市区町村数分繰り返す。

- 対象地域が 1 都道府県全域の場合

```
<住所情報>
  <住所コード>21000</住所コード>
  <住所>岐阜県</住所>
</住所情報>
```

- 対象地域が発注者の管内全域等の広域に渡る場合

```
<住所情報>
  <住所コード>21201</住所コード>
  <住所コード>21209</住所コード>
  <住所コード>21213</住所コード>
  .
  .
  .
  <住所コード>21421</住所コード>
  <住所>岐阜建設管内</住所>
</住所情報>
```

住所コードは、管内の該当地域の数繰り返す(当該地域の範囲により、県コード・市区町村コードを選択できる)。

- 特定の地域に該当しない場合

```
<住所情報>
  <住所コード>21000</住所コード>
  <住所>岐阜県全域</住所>
</住所情報>
```

1-2 場所情報

(1) 対象水系路線コード

対象水系路線コードは、TECRIS に登録されたデータを記入する。TECRIS 登録対象外の業務の場合は、下記 URL で公開されている TECRIS コード表を参照して該当するコードを入力する。

TECRIS 業務対象水系・路線コード

<http://www.nilim-ed.jp/calsec/tecris.htm>

<http://www.ct.jacic.or.jp/tecris/manual01.html>

(2) 「対象水系路線コード」と「対象水系路線名」の XML 表記例

- 対象地域が特定の水系に位置する場合

```
<水系-路線情報>
  <対象水系路線コード>19303</対象水系路線コード>
  <対象水系路線名> 川水系</対象水系路線名>
  :
</水系-路線情報>
```

- 対象地域が複数の路線に該当する場合

```
<水系-路線情報>
  <対象水系路線コード>21151</対象水系路線コード>
  <対象水系路線名>一般国道 号</対象水系路線名>
  :
</水系-路線情報>

<水系-路線情報>
  <対象水系路線コード>21153</対象水系路線コード>
  <対象水系路線名>一般国道 号</対象水系路線名>
  :
</水系-路線情報>
```

(3) 「対象河川コード」の XML 表記例

```
<対象河川コード>860604nnnn</対象河川コード>
```

淀川の例である。なお下 4 桁(nnnn)は河川番号を示しており、「河川コード仕様書」を準拠し、0001 から連番により付与する。

(4) 「左右岸上下線コード」のXML表記例

- 対象地域が道路の上り線に位置する場合

```
<左右岸上下線コード>10</左右岸上下線コード>
```

- 対象地域が河川の両岸に位置する場合

```
<左右岸上下線コード>01</左右岸上下線コード>  
<左右岸上下線コード>02</左右岸上下線コード>
```

両岸の場合は左岸と右岸を列記する。

(5) 「距離標」のXML表記例

- 起点側からの距離標が 31K45、終点側の距離標が 36K67 の場合

```
<起点側距離標-n>031</起点側距離標-n>  
<起点側距離標-m>045</起点側距離標-m>  
<終点側距離標-n>036</終点側距離標-n>  
<終点側距離標-m>067</終点側距離標-m>
```

(6) 境界座標(緯度経度)

「境界座標」は世界測地系(日本測地系 2000)に準拠する。その範囲は対象範囲を囲む矩形の領域を示し、経度と緯度を各々度(3桁)分(2桁)秒(2桁)で表される7桁の数値を記入する。

境界座標(緯度・経度)の値が不明確である場合は、地形図等から読み取るなどして、その値を管理項目に記入する。その時の精度は、業務範囲にもよるが百m程度を目安とする(経緯度の1秒は地上距離で約30mに相当する)。業務範囲が大きくなれば一般に精度も粗くなるが、可能な範囲の精度で取得することが望ましい。

なお、座標の調査方法については、「1-3 境界座標の調査方法(例)」に示すような方法により調査できる。

(7) 「境界座標」のXML表記例

- 対象地域が明らかな場合

```
<西側境界座標経度>1380929</西側境界座標経度>  
<東側境界座標経度>1381212</東側境界座標経度>  
<北側境界座標緯度>0351377</北側境界座標緯度>  
<南側境界座標緯度>0350213</南側境界座標緯度>
```

- 特定の地域に該当しない場合（発注者事務所の所在地点あるいは施工地点とし、同じ値を記入する。）

```
<西側境界座標経度>1380929</西側境界座標経度>  
<東側境界座標経度>1380929</東側境界座標経度>  
<北側境界座標緯度>0351377</北側境界座標緯度>  
<南側境界座標緯度>0351377</南側境界座標緯度>
```

1-3 境界座標の調査方法(例)

境界座標の調査方法としては、次の5つがある。

- 1) 測量成果電子納品「業務管理項目」境界座標入力支援サービス
- 2) 地形図閲覧サービス(国土地理院)による境界座標の調査方法
- 3) 地形図による境界座標の調査方法
- 4) 都道府県の東西南北端点と重心の経度緯度の調査方法
- 5) 既知の平面直角座標を変換する方法

各調査方法を以下に示す。

(1) 測量成果電子納品「業務管理項目」境界座標入力支援サービス

国土地理院では、業務・工事管理項目の境界座標に関する入力支援サービスのシステムを一般公開しており、インターネットが利用可能な環境であれば無償でサービスを利用することができる。

測量成果電子納品「業務管理項目」境界座標入力支援サービス

<http://psgsv.gsi.go.jp/koukyou/rect/index.html>

境界座標の取得方法を上記 URL の本文を引用して以下に示す。

1) 境界座標の取得方法

まず、矢印ボタンをクリックします。



矢印ボタンが押された状態で地図中の測量した点をクリックすると、地図中にバツ印がつき、左下にその点の緯度経度が表示されます。



東端:	140° 05' 07"
西端:	140° 05' 07"
北端:	36° 06' 25"
南端:	36° 06' 25"

同様に測量した点をクリックしていくと、測量領域が赤い四角で表示され、左下に境界座標の緯度経度が表示されます。



東端:	140° 05' 07"
西端:	140° 04' 60"
北端:	36° 06' 25"
南端:	36° 06' 20"

画面中表示されていない領域を測量したときは、虫眼鏡モードや手のひらモードで地図を移動させた後、再び矢印ボタンを押してから地図中の測量点をクリックしてください。(地図の移動のさせ方については「地図の操作」をご覧ください)

地図の操作

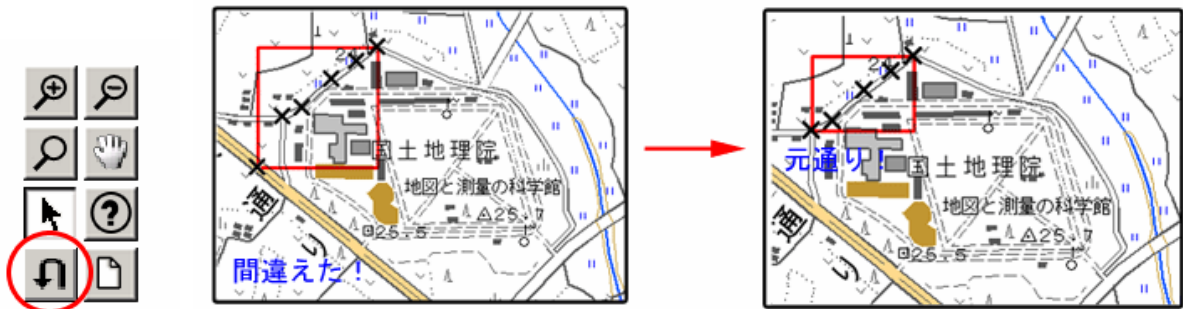
http://psgs.v.gsi.go.jp/koukyou/rect/manual_mapcontrol.html

測量領域全体をクリックすると、左下に境界座標が表示されます。



2) クリックする測量点を間違えたときは...

やり直しボタンをクリックすると、最後の入力を取り消すことができます。



3) 最初からやり直したいときは...

クリアボタンをクリックすると、すべての入力を消すことができます。



(2) 地形図閲覧サービス(国土地理院)による境界座標の調査方法

1. 業務対象範囲を地図等におとし、**左下隅**および**右上隅**を確認する。対象範囲が路線区間である場合は、対象路線の外側を業務対象範囲とする。

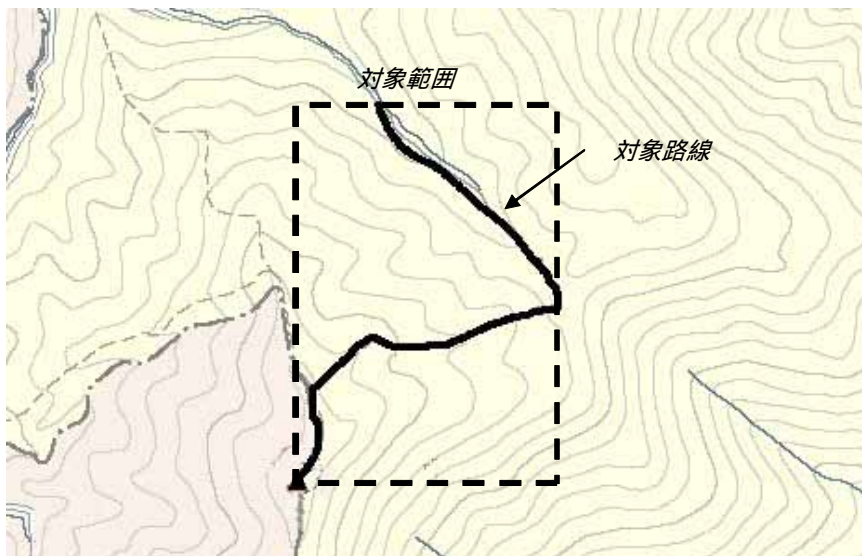


図1 業務対象範囲の取得方法

2. Web ブラウザにより下記 URL のホームページに接続すると、「地形図閲覧システム検索インデックス」が表示される。

<http://mapbrowse.gsi.go.jp/mapsearch.html>



図2 地形図閲覧システム検索インデックス

3. 「地形図閲覧システム検索インデックス」から、該当する地域をマウスで選択する。
4. 次に表示される図郭選択画面で範囲を絞り込み、該当する地域をマウスで選択する。
5. 最後に 1/50,000 地形図名の分割選択画面が表示されるため、該当する地域名をマウスで選択する。
6. 該当地域の 1/25,000 地形図の画像が表示される。表示範囲が対象範囲と異なる場合は、ウィンドウのスクロールバーで表示範囲を移動する。スクロールバーの移動可能範囲よりも外側に対象範囲が位置する場合は、画面の中の移動ボタンをクリックして表示図面を変更する。または、操作 2~4 に戻って範囲を選択し直す。

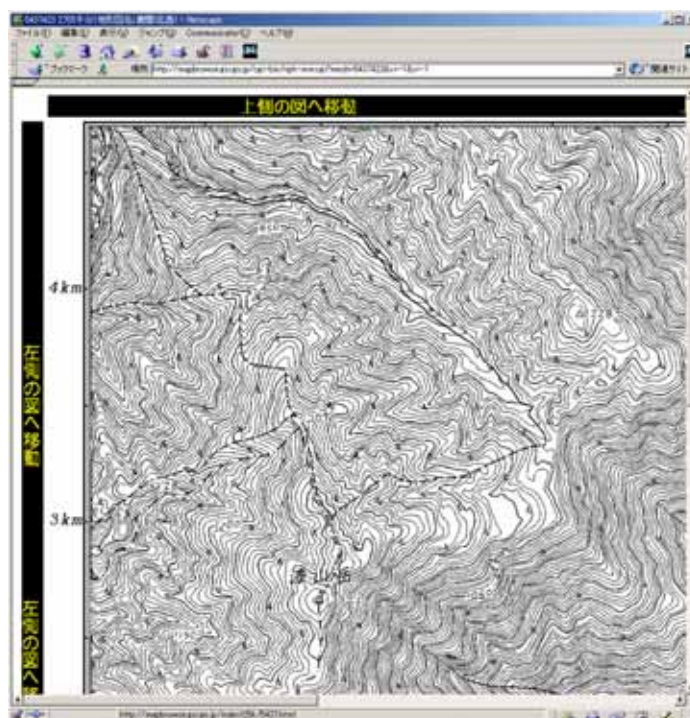


図3 地形図表示画面

7. 表示された地形図上で、1で確認した対象範囲の左下隅をマウスでクリックする。

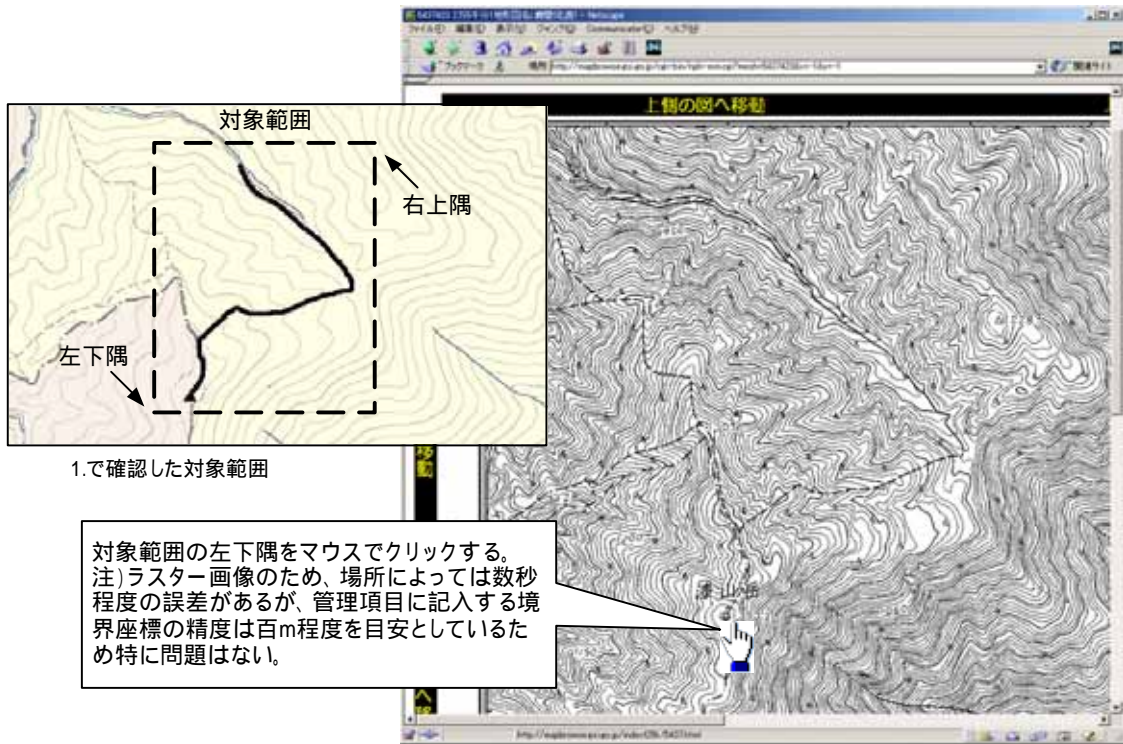
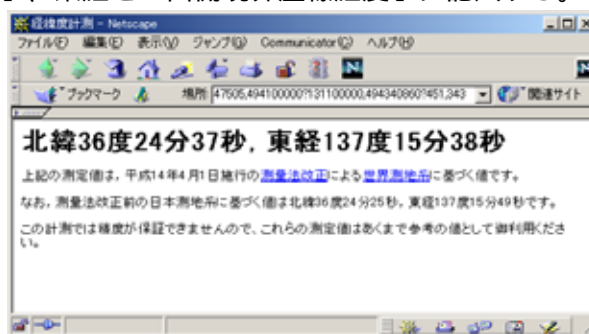


図4 対象範囲の左下の指示

8. クリックした地点の緯度経度が表示される。表示された北緯を「南側境界座標緯度」、東経を「西側境界座標経度」に記入する。



図付 緯度経度の表示

9. 7、8と同様の手順で対象範囲の右上隅をマウスでクリックし、表示された北緯を「北側境界座標緯度」、東経を「東側境界座標経度」に記入する。

(3) 地形図による境界座標の調査方法

1. 業務対象範囲を地形図(1/25,000、1/50,000、1/200,000)におとし、左下隅および右上隅を確認する。対象範囲が路線区間である場合は、対象路線の外側を業務対象範囲とする。

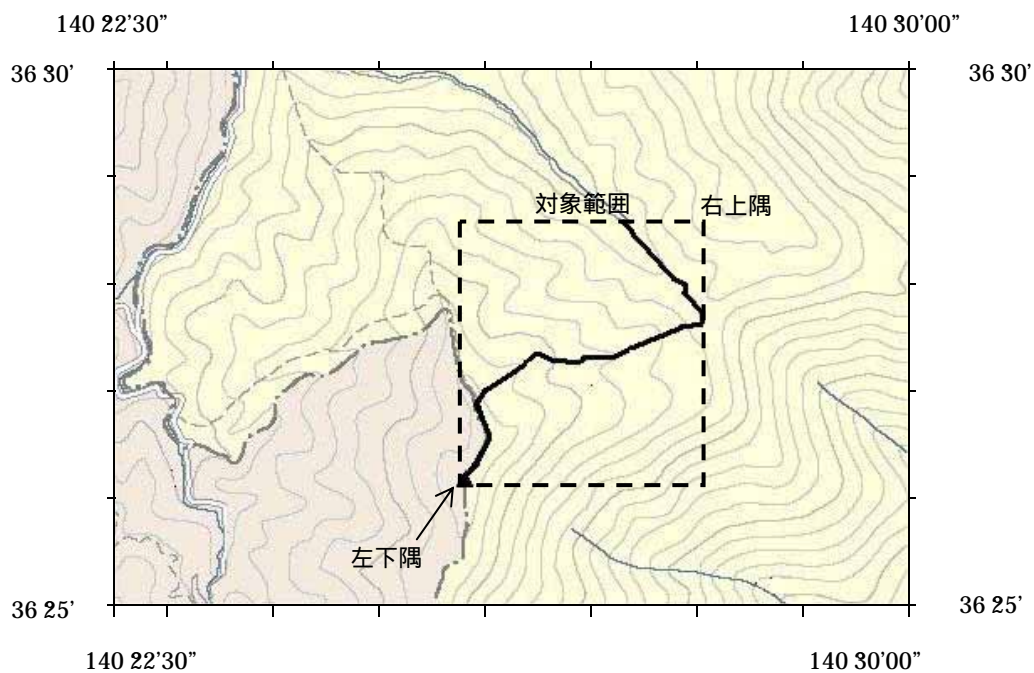


図6 業務対象範囲の取得方法

- 地形図が 1/25,000 の場合には、図郭線上に 1 分ごとの目盛りがきざまれているので、これらの目盛りを使用し、下図のように経緯度 1 分ごとのメッシュ (方眼) を作図する。

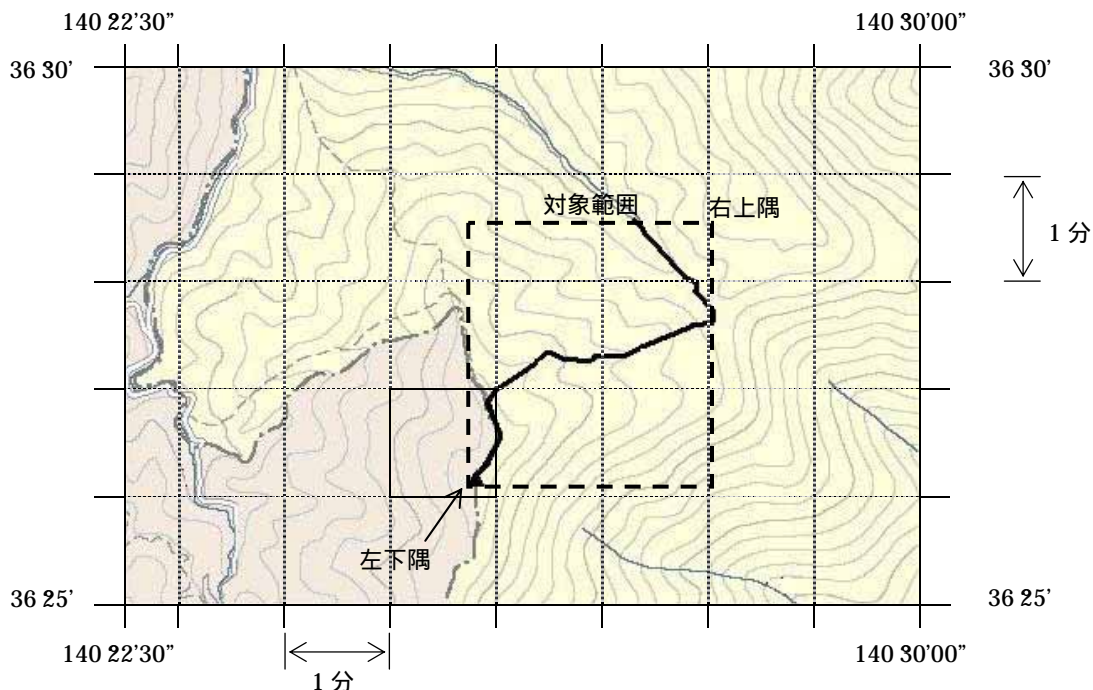
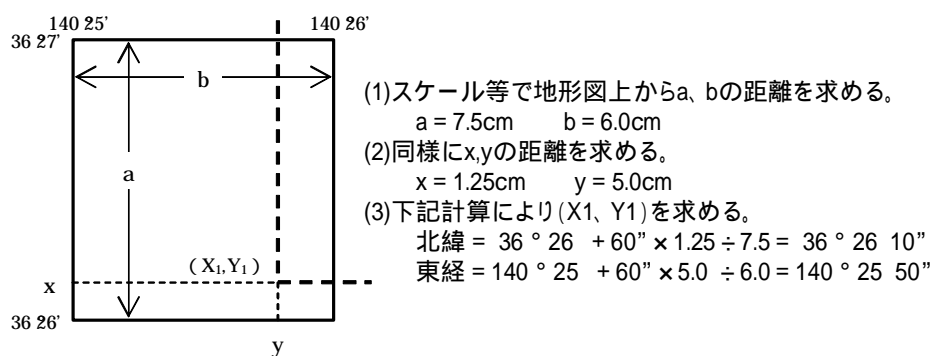


図 7 メッシュ図(1/25,000 地形図)

- 対象範囲の左下隅を含むメッシュ (二重線で囲まれた部分) を下図のように取り出し、比例配分等により秒数を計算し、左下隅 (X_1, Y_1) の座標を求め、求められた北緯 X_1 を「南側境界座標緯度」に、東経 Y_1 を「西側境界座標経度」に記入する。



図付 3-8 メッシュ拡大図

- 右上隅も同様の手順で、北緯を「北側境界座標緯度」に、東経を「東側境界座標経度」に記入する。

(4) 都道府県の東西南北端点と重心の経度緯度の調査方法

各都道府県の東西側の経度、南北側の緯度については、下記 URL のホームページを参照して記入することができる。

(参照先：都道府県の東西南北端点と重心の経度緯度)

国土地理院

<http://www.gsi.go.jp/KOKUJYOHO/CENTER/center.html>

(5) 既知の平面直角座標を変換する方法

平面図等で既に対象範囲の平面直角座標が判明している場合は、それらの値を緯度経度に変換して境界座標に記入することができる。

(インターネット上で利用可能な変換プログラム例)

国土地理院

<http://vldb.gsi.go.jp/sokuchi/surveycalc/main.html>

2 管理ファイルにおける基準点情報の記入方法

図面管理ファイルに入力する基準点情報の入手方法を以下に示す。

(1) 下記 URL のホームページに接続すると、「地形図閲覧システム検索インデックス」が表示される。

<http://cpservice.gsi.go.jp/haitenzu/japan.html>



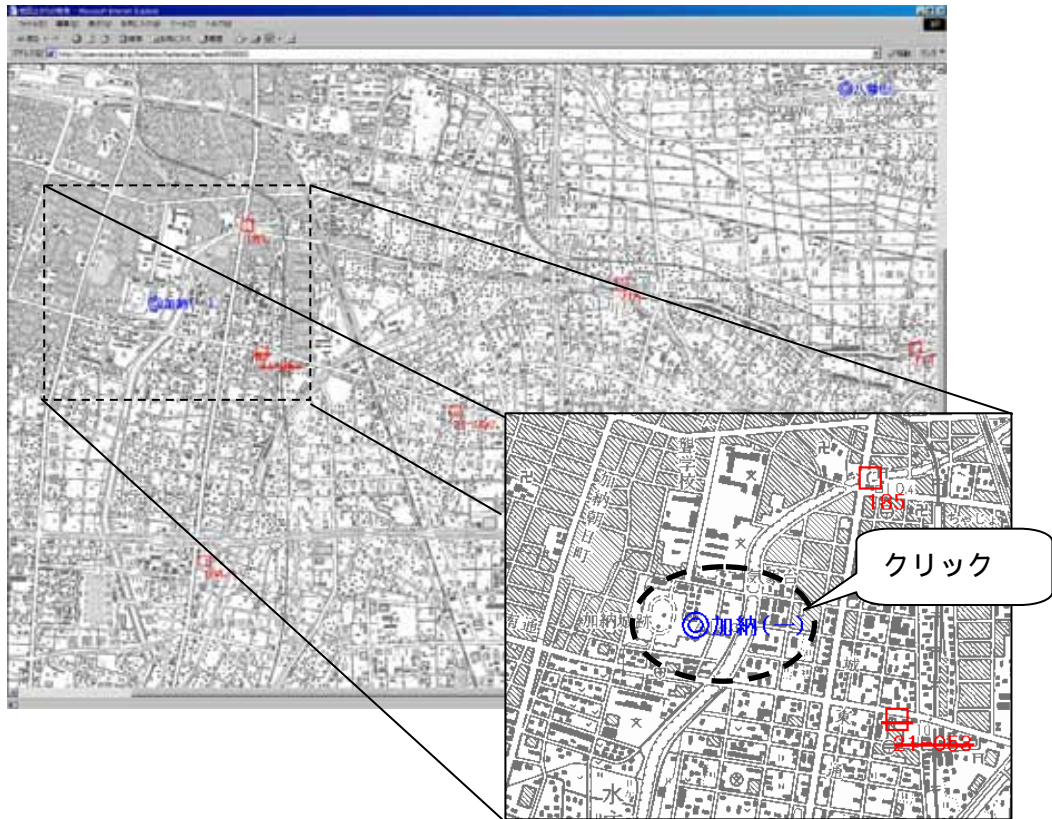
(2) 「地図からの検索インデックス」から、該当する地域をマウスで選択する。

(3) 次に表示される図郭選択画面で範囲を絞り込み、該当する地域をマウスで選択する。

(4) 最後に 1/50,000 地形図名の分割選択画面が表示されるため、該当する地域名をマウスで選択する。

(5) 該当地域の 1/25,000 地形図の画像が表示される。表示範囲が対象範囲と異なる場合は、ウィンドウのスクロールバーで表示範囲を移動する。スクロールバーの移動可能範囲よりも外側に対象範囲が位置する場合は、画面の中の移動ボタンをクリックして表示図面を変更する。または、操作 2) ~ 4) に戻って範囲を選択し直す。

(6) 表示された画面上で、該当地域に最も近い三角点(画面上に青色表示)をクリックして表示される基準点情報(緯度経度、座標系および XY 座標)を図面管理ファイルに記入する。



三角点・多角点情報表示

閲覧者は、閲覧した成果等を利用する場合に於いて、測量法及びその他の法令を遵守して下さい。
 ここで表示されている測量成果及び図録の情報は、経緯や改測等によって変更されていることがあります。
 測量等に成果を使用する場合は、国土地理院で確認し、原本と一致し、閲覧の上ご使用下さい。

世界測地系(測地成果2000)	
基準点コード	5304-06-7101
1/50000地形図名	経華
種別	三角三角点
冠字番号	村1
点名	加納
緯度	25° 23' 57" 8000
経度	136° 45' 41" 5000
標高	1420m
座標系	7系
X	-66561.200m
Y	-26798.027m
縮尺数値	497000
ジオイド高	37.86m
ジオイド高区分	
アンテナ高	
行政名	岐阜県岐阜市
所在地	大字10南九-1内
設置	
現況	正常2002/11/10
備考	